六ヶ所村 津波・高潮ハザードマップ

尾駮地区

このハザードマップは？

◆津波発生時に想定される**浸水区域や深さ、津波避難場所等の情報を掲載**しています。

命を守るため、この**ハザードマップ**で**避難場所**や**避難経路**を確認しましょう。

六ヶ所村内で最も早く津波が到達する時間は
地震発生後約20分の予想です。

◆**強い揺れ、津波警報**など**発表時**は、ただちに**高台か避難場所**へ避難しましょう。

もしもに備えて、家族で話し合いましょう。

◆**地震**や**津波**の正しい**知識を確認**。

◆**家族**の**避難場所**や**退避ルートを確認**。

◆家族間の**連絡方法**や**連絡先を確認**。

家族の避難場所

緊急時の連絡先

津波警報・注意報について

◆気象庁は、地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合、**地震発生後約３分**を目標に、津波の到達時間と高さなどの**大津波警報・津波警報・津波注意報**を発表します。

◆気象庁のホームページ　https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報（巨大）	10m超	◆沿岸部や川沿いにいる人は、**ただちに高台の安全な場所へ避難**。 ◆**津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない**。 ◆津波は繰り返し襲ってくるので、**安全と思わず、より高い場所を目指して避難**。 ◆ただちに**海から上り、海岸から離れる**。 ◆**津波注意報が解除されるまで海岸に近づかない**。	◆木造家屋が全壊・流失し、人は津波の流れに巻き込まれる。
	5m～10m		
	3m～5m		◆低い場所では津波の浸水被害が発生する。人は津波の流れに巻き込まれる。
津波警報（高い）	1m～3m		
津波注意報	0.2m～1m		◆海の中では人は速い津波の流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失、小型船舶が転覆する。

◆村民の生命・安全を守るために、**必要な緊急情報を防災行政無線**で伝えます。

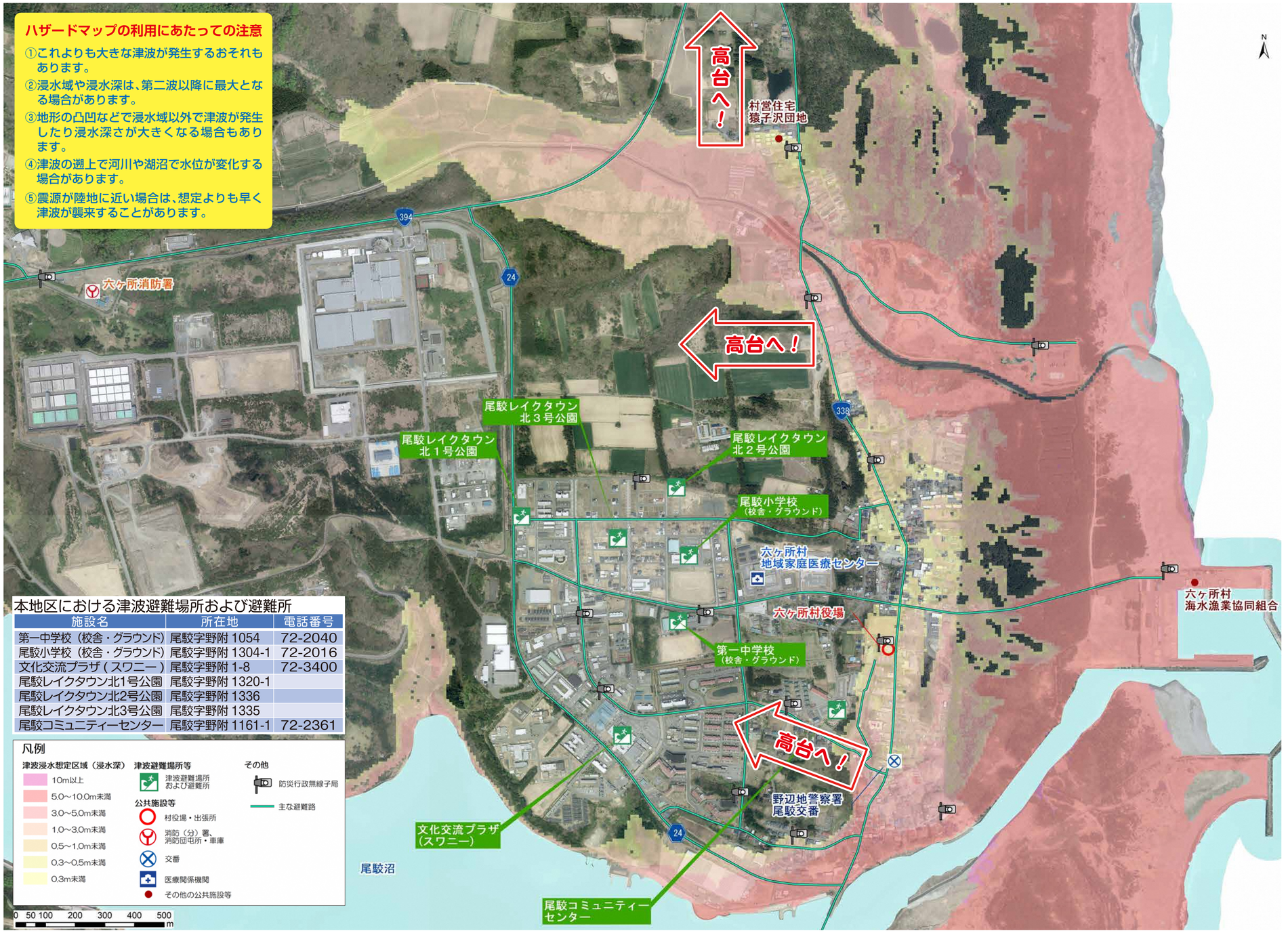
◆大津波警報、津波警報が発表された場合、**「屋外スピーカー」や各家庭の「個別受信機」**からサイレンや音声で情報をお伝えします。

大津波警報　3秒吹鳴　2秒休止　×3回
大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。

津波警報　5秒吹鳴　6秒休止　×2回
津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。

ハザードマップの利用にあたっての注意

①これよりも大きな津波が発生するおそれもあります。
②浸水域や浸水深は、第二波以降に最大となる場合があります。
③地形の凸凹などで浸水域以外で津波が発生したり浸水深さが大きくなる場合もあります。
④津波の遡上で河川や湖沼で水位が変化する場合があります。
⑤震源が陸地に近い場合は、想定よりも早く津波が襲来することがあります。



本地区における津波避難場所および避難所

施設名	所在地	電話番号
第一中学校（校舎・グラウンド）	尾駮字野附 1054	72-2040
尾駮小学校（校舎・グラウンド）	尾駮字野附 1304-1	72-2016
文化交流プラザ（スワニー）	尾駮字野附 1-8	72-3400
尾駮レイクタウン北1号公園	尾駮字野附 1320-1	
尾駮レイクタウン北2号公園	尾駮字野附 1336	
尾駮レイクタウン北3号公園	尾駮字野附 1335	
尾駮コミュニティーセンター	尾駮字野附 1161-1	72-2361

凡例

津波浸水想定区域（浸水深）
10m以上
5.0～10.0m未満
3.0～5.0m未満
1.0～3.0m未満
0.5～1.0m未満
0.3～0.5m未満
0.3m未満

津波避難場所等
津波避難場所および避難所

公共施設等
村役場・出張所
消防（分）署、消防団屯所・車庫
交番
医療関係機関
その他の公共施設等

その他
防災行政無線子局
主な避難路

津波に対する心得

1. 地震から身を守る
◆机の下などで**落下物から身を守る！**
◆安全を確保し**火の元を確認！**
◆テレビ、ラジオなどで**正しい情報収集！**

津波警報等発表

2. 津波避難場所に避難
◆津波注意報が出たら**海岸や河川のそばから早く離れる！**
◆津波警報以上が出たらすぐに**避難を開始！**（津波は猛スピードで襲ってきます！）
◆避難は「遠く」より「高く」。**少しでも高い所へ避難！**
◆周りに**声を掛けて率先して避難！**
◆高齢者など**支援が必要な方を、助け合いながら避難！**
◆原則**徒歩で避難！**（車は渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れる可能性があります。）

避難場所へ避難完了

3.避難場所に留まる
◆津波警報**解除まで自宅には戻らない！**
◆津波は第1波よりも第2波、第3波の方が大きくなる場合があります。

日頃からの備え

家族や大切な人と**日頃から話し合い、一人ひとりが津波に備えましょう。**

非常持出品の例
- 飲料水（500mlペットボトル2本程度）
- 非常食（乾パンや火を通さなくていいもの）
- 携帯用充電器（モバイルバッテリー）
- 懐中電灯　●携帯ラジオ
- 乾電池
- 貴重品（小銭も）
- 医薬品（常備薬）
- おくすり手帳
- 衣類、下着
- ウェットティッシュ
- 軍手
- 雨具（レインコート）
- 身分が分かるもの（運転免許証など）
- 感染症対策（マスクなど）

安否確認の方法

自分や相手の安否を確認する**声の伝言板**を活用しましょう。

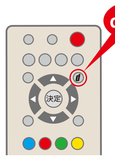
171　毎月1日と15日に体験ができますので、練習してみましょう！災害時には各携帯会社の災害用伝言板も利用できます。

Step. 1　1 7 1　災害用伝言ダイヤル
Step. 2　伝言を**録音**する 1　伝言を**再生**する 2
Step. 3　録音または再生する電話番号を入力
（(X X X X) X X　-X X X X）
固定電話の場合、**市外局番**（0175など）から入力
携帯電話番号でも録音・再生可能です。
Step. 4　ガイダンスに従い録音または再生

防災情報の入手

防災行政無線・広報車・テレビ・ラジオから確認しましょう。

テレビ
各放送局やリモコンのdボタンから災害情報を確認できます。



①テレビの電源をいれてリモコンの「dボタン（データ放送）」を押す。
②リモコンの矢印で必要な情報に合わせて「決定」を押す。

令和4年3月作成　発行：六ヶ所村 原子力対策課　電話：0175-72-2111（代表）